

一般社団法人 宮崎県介護支援専門員協会
がんばるケアマネジャーのための広報誌

ケアマネ
みやざき

MC
MA

Vol.37

2026.8.1発行
発行責任者
担当理事:脇田浩之

令和8年度ケアマネみやざき
会長挨拶

宮崎県介護支援専門員協会
会員の皆様、平素より当協会
の事業運営に、温かいご支援、
ご協力を賜りまして、心より
御礼申し上げます。

私は、六月二十一日に開催
されました理事会において、
会長に推挙され、ご承認を賜
りました大峯伸一です。甚だ
微力ではありますが、精一杯
努めてまいりたいと思います
ので、どうぞよろしくお願い
いたします。

皆様ご存じのとおり、この
宮崎県介護支援専門員協会は、
これまで様々な取り組みや発
信を行ってまいりました。二
〇一九年十月には、「国家資
格化に向けたシンポジウム」
を県協会主催で開催しました。



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
会長 大峯 伸一

このことをきっかけに、後に
この資格が国家資格であるこ
とが明確になるとともに、現
在白熱している、直接この資
格を目指すルート開拓への
議論へとつながりました。ま
た、コロナ禍の混乱が冷めや
らぬ二〇二二年六月には、

「日本介護支援専門員協会全
国大会 in 宮崎」を、全国
初となるハイブリッド形式で
開催し、九〇〇名を超える参
加をいただき、大盛況のうち
に終わることができました。

県内においても、県議会議員、
県幹部職員合同の意見交換会
を定例化し、介護支援専門員
の資質向上や処遇改善への積
極的な議論をもとに、具体的
な取り組みにつなげてまいり
ました。また、会員の皆様の
ご理解により、有資格者が協
会に加入している割合は、常
に全国トップレベルで推移し
ています。

こうして、全国に誇れる組織
として成長できたのは、ひと
えに牛谷前会長のご指導の賜
物と存じます。医師という立
場から、介護支援専門員が多
職種連携の要であると常にこ
発信いただき、その深い理解
と熱い思いで私たちを導いて

いただいたことに、会員を代
表して心より御礼を申し上げ
ます。また、名誉会長として、
今後引き続きご助力いただ
きますことに、大変心強く、
改めて感謝申し上げます。

私自身は、高齢者福祉の世
界に身を置いてもうすぐ四〇
年を迎えようとしています。

特養の介護職から始まり、生
活相談員、在宅介護支援セン
ターの主任相談員、そしてケ
アマネとして居宅、施設どち
らにも勤務しました。どの立
場においても、その難しさや
大変さと同時にやりがいを感じ
てきました。私たちの周り

には、同じようにやりがい
を糧として、その力を存分に発
揮している専門職が多く存在
します。そうしたチームが目
指すもの、それは紛れもなく
「市民の幸せの実現」だと思
います。そこにたどり着く手
法はそれぞれです。でも、登
り切った先にある「その人の
幸福」というゴールは、どの
専門職においても同じなので
す。私たち介護支援専門員も
そうした専門職の一つであり、
加えて、チームを構成する専
門職の意識をまとめる職能を
有しています。

これは私たちにしかない唯一
無二の価値であり、私はこの
ことに大いなる誇りを感じて
います。

六月一日に川口市で起きた
痛ましい事件は、私たちに大
きな衝撃と不安を抱かせまし
た。自分たちの身の安全をど
う守るか、これまで以上に真
剣に考えねばなりません。ま
た、更新制廃止に伴う研修体
系への対応、業務改善、処遇
改善への対応、更には制度改
正への準備といったように、
考えることは尽きません。

この度承認をいただきました
新しい役員は、私を筆頭に、
未熟で力足らずかもしれませ
ん。でも、皆で補い、支え合
うことで、託されたバトンを
守り、次の世代にしっかりと
つないでいくことができる
信じています。混在する課題
を的確に捉え、解決の道筋を
整え、会員の皆様が安心して、
そして誇りを持って業務に臨
めるよう精一杯努力してまい
ります。引き続き、これまで
同様、ご支援とご理解を賜り
ますよう、心よりお願い申し
上げます。

宮崎県介護支援専門員協会 新役員紹介

令和8年度の総会で承認を得て、令和8年度から2年間の役員が決まりましたのでご紹介いたします。



副会長
児玉 あかね

当協会の発足当初から携わった経験を活かし、更なる組織の充実・拡大が図れるよう力を尽くします。どうぞよろしくお願い致します。



副会長
滝本 実和

このたび副会長を拝命いたしました。介護支援専門員協会の発展に少しでもお力になれるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



副会長
日向・東臼杵
ブロック
黒木 千恵

このたび、副会長を拝命いたしました。皆様とのつながりを大切に、学びを重ねながら、活気あふれる活動に努めます。



延岡・西臼杵
ブロック
平塚 敦

ブロック理事に再任いたしました。延岡・西臼杵支部の介護支援専門員の皆様と力を合わせともに歩んでいければと思います。



西都・児湯
ブロック
水野 みすず

西都・児湯ブロック理事を拝命しました。地域会員の皆様が抱える悩みや課題等が少しでも解決できるよう、尽力したいと思います。



宮崎・東諸県
ブロック
中島 晋太郎

宮崎・東諸県ブロックを担当します。現場の声を大切に、会員同士学び合えるネットワークづくりを通じて、地域福祉の発展に尽力してまいります。よろしくお願いします。



日南・串間
ブロック
橋本 由美

微力ではありますが、ブロック委員と一緒に支部活動の支援を通して会員の皆様と共にスキルアップしていけるよう頑張りたいと思います。



都城・北諸県
ブロック
清水 那一

諸先輩方にご指導を仰ぎながら、都城・北諸県の介護保険事業の発展に少しでも貢献する所存です。



小林・えびの・西諸県
ブロック
山毛 徹

会員のみなさまが楽しく交流できるように精一杯がんばりますので、ご協力をお願いします。



調査研究部
内田 茂雄

理事として、研修や情報共有の機会の充実、行政や関係団体との連携の強化などを通じて、現場で働く皆さまの力になれるよう力を尽くしてまいります。



研修企画部
大浦 栄子

会員の皆様の資質向上・スキルアップ・モチベーションアップに繋がり、職能を高められるよう担当研修を企画運営して参ります。



資質向上部
大石 美香

この度資質向上部の理事を拝命しました。緊張しておりますが、指導者養成と研修の充実に努め委員と共に学び合いながら資質向上に尽力して参ります。



法定研修部
恒吉 歩

法定研修の充実により皆様の専門性向上を後押しできるように、しっかり取り組んでまいります。宜しくお願いいたします。



情報政策部
脇田 浩之

今期より理事を務めさせていただきます。情報発信から研修企画など協会活動の発展に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



介護保険部
日高 陽子

介護保険部は国の適正化事業であるケアプラン点検を担います。委員の皆と力を合わせ、円滑な事業推進に努めてまいります。



相談支援部

山下 裕行

引き続き、相談支援部を担当いたします。会員の皆様のお力になれるよう、与えられた役割を一步ずつ果たしてまいります。



総合支援部

甲斐 輝彦

多職種連携を軸に専門性の垣根を越え、互いに高め合い、共に支え合える環境づくりに努めてまいります。よろしくお願い致します。



顧問

嶋田 喜代子

これからもケアマネジャーの役割は益々必要です。顧問として、ケアマネジャーの皆様の働きやすい環境整備に取り組んでいきます。



監事

中島 紫織

法定研修の改革により、県ケアマネ協会の収支も変わりますが、これまで同様、会員に役立つ予算組みを手助けして参ります。



監事

兎浪 俊之

今期より監事を務めることとなりました。皆様から頂戴している会費の重みを常に意識し、責任を持って職務に取り組んでまいります。



外部理事

吉見 雅博

外部理事に就任しました吉見雅博と申します。普段は都城市高城でかかりつけ医として仕事をし、宮崎県医師会の常任理事も務めております。宮崎県ケアマネ協会の一員としてより良く安全に皆様が仕事ができるよう内外から意見を述べ、医師会に繋いでいく橋渡しができるよう頑張っております。どうぞよろしくお願い致します。



事務局長

岡崎 浩司

事務局長15年目！ 経験は豊富、フットワークは軽く。会員の皆さんと一緒に、宮崎のケアマネをもっと元気にします！



役員一同、ケアマネジャーのために力を合わせて頑張ります！

令和8年度

一般社団法人 宮崎県介護支援専門員協会 総会・講演会



議長

東洋大学 高野龍昭教授

令和8年6月21日(日)に宮崎市のJA・AZMホールにて、令和8年度一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会総会・講演会が開催されました。当日は、令和7年度事業報告および収支決算、新役員の選出、新役員選任報告、令和8年度事業計画及び予算について報告いたしました。議長のスムーズな進行と皆様のご協力のもと、すべての議案が承認されました。誠にありがとうございました。

講演会では、「介護保険制度の2026年度新規施策～ケアマネジメントの処遇改善とICT/DX化推進施策～」をテーマに、講師に東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科教授の高野龍昭先生をお招きしました。介護保険制度の課題と2040/2065年問題、2026年度の介護保険制度の動向、2027年度の介護保険制度改正の動向について、統計データを用いてわかりやすくご教示いただきました。熱気に満ちた講演となり、参加者は真剣に耳を傾けていました。

宮崎県協会の会員数の動向 R6.7.31現在		
ブロックネットワーク別	正会員	準会員
宮崎・東諸県	589	5
小林・えびの・西諸県	86	0
西都・児湯	130	0
日南・串間	134	0
都城・北諸県	213	0
日向・東臼杵	115	0
延岡・西臼杵	176	1
県外	5	0
合計	1448	6

会長退任挨拶

ケアマネジャーを取り巻く環境は、急速な高齢化や制度改正により非常に厳しい状況にあります。業務範囲の拡大と増大し続ける負担や役割に見合わない報酬などが原因でなり手が不足しており、人材の確保や業務効率化、ケアマネジメンツの質の維持が喫緊の課題となっています。利用者の自宅訪問やアセスメントなど多量業務による疲弊、利用者やその家族との関係性に加え、介護職員や各介護事業所との調整・連携において、コミュニケーション面での苦労も絶えません。昨今、在宅医療・介護の連携が重視されるなかで、医療と介護をつなぐ調整役として、その存在意義はますます大きくなっています。本協会でも、処遇改善や業務負担改善などを中心に、すでに始まっている介護保険制度改定に関わる取り組みについて注視して参りたいと思います。



名誉会長
牛谷 義秀

ところで、私は令和八年度定期総会期日をもちまして、十八年間務めた協会長の職を退任させていただくこととなりました。振り返れば、協会の創設に関わった頃、私たちは「ケアマネジャーの専門性を高めたい」「仲間同士で支え合える組織をつくりたい」「利用者本位のケアマネジメンツを地域に根付かせたい」という強い思いを胸に、この協会の第一歩を踏み出しました。開設当初は地域の小さなコミュニティでしたが、活動を続ける中で「ケアプランの負担」や「処遇改善」「資格更新の厳しさ」といった課題は、個人の努力や一自治体レベルの交渉では解決できないことが浮き彫りになっていきました。当時は手探りの連続でした。研修会の準備に追われ、時には先の見えない不安を感じることがありました。しかし、そのたびに仲間たちが知恵を出し合い、励まし合い、一歩ずつ前に進んできました。その当時直面した限界を、「地域のケアマネ団体」「宮崎県介護支援専門員協会」、そして「全国組織としての日本介護支援専門員協会」が対等に連携し、「現場の声を県へ、そして国へと届けて制度を動かす」という強固な三層構造の体制を築くことができました。今では、宮

崎県内の介護保険制度の要としてなくてはならない中核組織へと成長を遂げています。すでに更新研修がなくなることも決定しておりますが、いったん離職しておられた潜在ケアマネの皆さんの復職の足かせになっていた再研修もなくなるようになりました。私たちの仲間が再び寄り添い、一緒に仕事ができる環境が整ったのではないのでしょうか。多くの仲間が集い、地域に欠かせない組織として協会が成長した姿を見ることができたのは、ひとえに会員の皆さま一人ひとりのお力添えのおかげです。心から感謝申し上げます。私自身、これまで多くの利用者やご家族との出会いを通じて、ケアマネジャーという仕事の尊さを学んできました。私たちの仕事は、決して華やかではありません。制度と現実の狭間で悩み、答えのない課題に向き合い、ときには無力さを感じることもあります。それでも、利用者の方から「ありがとう」と言われたとき、ご家族に笑顔が戻ったとき、そして住み慣れた地域で最期までその人らしく暮らせたとき、私たちはこの仕事の価値を改めて実感します。ケアマネジャーは、人の人生に寄り添う仕事です。人生の喜びにも、悲しみにも、希望にも、不安にも寄り添いながら、その人らしい暮らしを支える、それは誰にでもで

きることはありません。この仕事の誇りと自信をもっともって持つていたいと思います。私は一緒に仕事している皆さま一人ひとりを誇りに思っています。時代は変わり、制度も変わります。しかしながら、どれほど社会が変化しても「人を支える」という私たちの原点だけは変わらないはずですから、これからも、利用者のために、地域のために、そして次の世代のケアマネジャーのために、この協会を育て続けてください。私は協会長という立場を離れますが、これからは名誉会長として、皆さまの後ろから応援しながら、皆さまとともに地域福祉の発展に力を尽くしてまいります。最後にありますが、この任期中、私を支えてくださった役員、会員の皆さま、関係機関の皆さま、そして日々現場で奮闘されているすべてのケアマネジャーの皆さまに、心から感謝申し上げます。

協会の未来がさらに輝かしいものとなることを祈念します。そして、皆さまがこれからも利用者の人生に希望の灯をともし存在であり続けることを願っています。長い間、本当にありがとうございました。以上をもちまして、私の最後のご挨拶とさせていただきます。

編集後記

八月に入り、夏本番となりました。会員の皆さまにおかれましては、暑い中での業務、本当にお疲れ様です。体調を崩しやすい時期ですので、食事や水分等で栄養を摂り、体調管理をされてください。私は、風物詩であるお祭りが大好きなので、出かけては気分転換をしています。今しか味わえないことを楽しみ、それを活力に変えて過ごしています。日頃の業務や生活で、時間がなかなかい会員さんもらっしやると思います。疲れをリセットするためにも、少しでも自分の時間を持ち、次の活力としていきましよう！

情報政策部

広報委員会 衛藤 順子

